

Tokyo Kasei Press

学園新聞

第75号

学校法人 渡辺学園
発行 総務部総務課
〒173-8602 東京都板橋区加賀
1-18-1 電話(3961)5226

東京家政大学
東京家政大学大学院
東京家政大学短期大学部
附属女子高等学校・附属女子中学校
附属みどりヶ丘幼稚園

主な内容

- 平成28年度渡邊辰五郎賞贈賞式・記念講演会 挙行…………… 1面
- 学校法人渡辺学園理事・評議員改選される…………… 1面
- 学生記者企画 学生記者が“学園の気になる”を紹介…………… 2面
- ニコ☆プチ ガールズコレクション2017 (プチ☆コレ) への参加…………… 4面
- 東京都北区との連携事業「トップ・アスリートのまち・北区」学生による広告塔デザインが完成! …… 4面

平成28年度

渡邊辰五郎賞贈賞式・記念講演会 挙行



5月11日板橋キャンパス中会議室にて平成28年度渡邊辰五郎賞贈賞式・記念講演会が開催されました。

第6回目の今回は、具嶋直子氏・工芸家(平成6年東京家政大学家政学部栄養学科栄養学専攻理科コース卒業)、幸田裕子氏・茨城県稲敷市立新利根小学校教諭(平成8年東京家政大学大学院家政学研究科修士課程食物栄養学専攻修了)の二人に渡邊辰五郎奨励賞が贈られました。

贈賞式

菅谷理事長、山本学長をはじめ、理事・役職者等が多数列席の下、保坂総務部長の司会により贈賞式が催されました。菅谷理事長は挨拶の中で、「二隅を照らす」という言葉があります。第6回目までをとおして、卒業生の皆さんが一隅を光り輝かせていたと思います。今の仕事をさらに広げられて、日本のため、ひいては学園の名誉のためにも頑張ってください。次は山本学長のご挨拶の後、具嶋氏、幸田氏の



幸田裕子氏

長年にわたり教育活動に従事し、理科教育の推進と充実に努め、教育成果を上げ高く評価されている。



具嶋直子氏

「絶滅寸前の希少技術」といわれる芝山象嵌を継承し、作品は日本象牙彫刻会賞を受賞するなど文化の保存に貢献している。

記念講演会

具嶋直子氏は「芝山象嵌を継ぐ」と題して講演されました。「明治の超絶技巧」の工芸のひとつとして注目されている芝山象嵌の特質、制作の面白さと難しさ、芝山象嵌を始めたきっかけ、これから目指すことについてお話しされました。

幸田裕子氏は「科学が好きな子どもの育成」と題して講演されました。これま



山本学長 挨拶



表彰状 授与



菅谷理事長 挨拶

紹介がされ、菅谷理事長より表彰状と副賞が、山本学長より記念メダルが贈られました。

【渡邊辰五郎賞について】

渡辺学園の創立者である渡邊辰五郎は、明治14年に自ら和洋裁縫伝習所を開設し、その後の東京裁縫女学校、東京女子専門学校に至るまで、一貫して、知徳を涵養し、裁縫を広く教授できる女性を育て、裁縫教授によって女性が身を立てることのできる教育を行ってきました。本学園は平成23年度に創立130周年を迎え、日本近代の黎明期である明治時代の偉大なる教育家として評価されている渡邊辰五郎の偉業を讃え、後



幸田氏 講演



具嶋氏 講演

での授業等の実践の紹介と、理科教育に対する思いや今後の抱負を語りました。講演終了後は会場を大会議室に移し、お茶会が行われました。授賞者を囲んで参加者と和やかに歓談しました。

平成16年度の学校教育法改正により、全ての大学、短期大学、高等専門学校は、7年以内ごとに文部科学大臣の認証を受けた評価機関(認証評価機関)による第三者評価(認証評価)を受けることが法律で義務付けられました。現在は2巡目(7年以内ごとのサイクルとして2回目)の評価が実施されており、東京家政大学短期大学部は、一般財団法人短期大学基準協会による平成28年度第三者評価の結果、「適格」と認定されました。

平成28年度第三者評価の結果「適格」と認定



学校法人渡辺学園

理事・評議員改選される

本学園寄附行為に基づき、学園の理事、評議員が改選されました。任期は平成29年6月5日～平成32年6月4日。

理事	校長	学長	評議員
森 笹 木 加 大 岩 岩	篠 山 本	菅 谷 定 彦	新 井 哲 男
田 井 元 藤 倉 田 井	(平成32年3月31日まで)		井 上 俊 哲
幸 邦 幸 信 洋 絹			江 井 浩 哉
◎ 雄 彦 一 子 代 力 江			近 藤 澤 江 井 上 井
◎ ◎ ◎ ◎			大 岩 今 伊
			折 大 岩 今 伊
			木 折 大 岩 今 伊
			黒 石 元 井 倉 田 留 澤
			幸 正 道 文 道 壽 聰 紀 幸 晋 洋
			雄 江 夫 啓 子 子 文 一 也 代 力 忍 修

(五十音順)

学園貢献賞 「大学院ベスト論文 理事長賞」授賞式

学園貢献賞の一つである「大学院ベスト論文理事長賞」の授賞式が3月18日板橋キャンパス16号館食堂Luceで開催され、菅谷理事長より表彰状と副賞が授与されました。

学園貢献賞は、学園運営の「近みらい創造プロジェクト」のひとつとして平成28年度から新たに実施され、ほめて育てる教育の推進表彰制度の一環です。

平成28年度 大学院ベスト論文理事長賞

久松裕子	白井菜月
人間生活学総合研究科 人間生活学専攻 博士課程3年	人間生活学総合研究科 造形学専攻 修士課程2年
内容:「半乾燥野菜」に関する学会発表及び論文等は学会誌論文2報、本学紀要2報、依頼執筆原稿2報、また、これらに関する学会発表も6報あり、新規性・独創性のある優秀な業績をあげている。	内容:「天然繊維材料の改質に関する研究」で著名学術雑誌論文1報、学会発表5報、また、学会発表では若手優秀ポスター賞を受賞し、国際学会で英語による発表を複数回行っている。



久松裕子さん



白井菜月さん

学生記者企画

学生記者が、学園の気になるを紹介

いつもお世話になっている学園を、まねる裏方さんのお仕事とは?!

警備さん、清掃さん、ファミリーマートの店員さんにお話を伺いました。

ティケイ株式会社 谷池 亮さん

新生ビルテクノ株式会社 飯島和彦さん

大和ライフネクス株式会社 鈴木敏夫さん

佐々木富枝さん

穴見真紀さん

中川圭一氏

中川圭一氏

中川圭一氏

警備内容は? キャンパス内の巡回、各門での受付がメインになります。それと防犯・防犯の業務です。365日、24時間体制で警備を行っています。

清掃内容は? 清掃全般です。主に講義室、演習室、実習室、トイレ、廊下階段、食堂などです。その他に落ち葉や鳥の糞の掃除、掲示板の掃除をしています。通常清掃は学生さんが登校する時間まで終わらせています。

ファミチキの印象は? 皆さん礼儀正しい印象を受けます。家政大生に人気の商品ベスト3

ファミチキ 1位、パスタサラダ 2位、フラッペ 3位

取材を終えて 普段何気なく使用している教室やトイレを見るとゴミや埃がなく、常に清潔な状態に保たれています。

「何でも屋」として働くことに誇りを感じています。家政大生の印象 物怖じしない、しっかりと勉学に励んでいるな、という印象です。

「何でも屋」として働くことに誇りを感じています。家政大生の印象 物怖じしない、しっかりと勉学に励んでいるな、という印象です。

「何でも屋」として働くことに誇りを感じています。家政大生の印象 物怖じしない、しっかりと勉学に励んでいるな、という印象です。

「いつも綺麗にしてくれてありがとうございます」と言われると、やってよかつたなと思います。

キャンパスで外の作業が多いことです。天候に左右されるので。特に夏の炎天下や雪が降る中での作業は大変です。

定期清掃の時に滑って転ぶと危ないので「立入禁止」の看板を立てて作業をしていますが、入ってきてしまう学生がいるので危ないです。

「何でも屋」として働くことに誇りを感じています。家政大生の印象 物怖じしない、しっかりと勉学に励んでいるな、という印象です。



谷池さんと学生記者 北田さん



飯島さん



鈴木さんと学生記者 穴見さん



佐々木さん

生活科学研究所

「レクチャーフォーラム」開催のお知らせ

今年度はNHK朝ドラ「マッサン」で有名な、ニッカウキスキー創業者の竹鶴政孝氏とウイスキーについて講演を行う予定です。入場無料



10月29日(日) 14:00開演(13:45開場) 会場: 東京家政大学 板橋校舎 120周年記念館2階C講義室

国際交流センター

TKUサマープログラムの開始

6月25日から2週間、TKUサマープログラムが実施され、オーストラリアのニューキャッスル大学、イギリスのエセックス大学、台湾の淡江大学から合計10名の留学生が参加しました。



English Village グループ英会話の様子

平成30年度 大学院人間生活学総合研究科入試日程

〈全専攻 1期・2期入試実施 男女共学〉

大学院人間生活学総合研究科では、衣・食・健康・福祉から、心と保育・教育までを包括した人間の生命活動と生存活動の探求を深め、新たな今日的課題に応える広く複眼的な視野を持った研究能力と課題解決能力のある実社会でリーダーとなる人材の養成を目指します。30年度入試日程は以下の通りです。

(大学院事務局: 03-3961-3473 / daigakuin@tokyo-kasei.ac.jp)

Table with columns: 課程, 専攻, 定員, 入試種別, 説明会, 試験日, 出願期間, 合格発表, 入学手続期間. It lists details for the 1st and 2nd admission periods for various majors like Child Education, Health Nutrition, etc.

* 人間生活学専攻では学内推薦入試は実施しません。臨床心理学専攻は学内選抜入試を8月上旬に1回実施する予定です。大学院の詳しい情報については、大学院HPで確認してください。

Advertisement for 'Life as a Theme' research competition. Includes details about the competition theme, submission methods, and prizes.

「生活」をテーマとする研究・作品コンクール」を募集しています。応募資格: 一般高校生部門、東京家政大学・短期大学の学生部門。表彰状および副賞として最優秀賞10万円(各部門1名)。

図書館



図書館の学生ボランティア団体 Library Mates は、今年5年目を迎えました。年々活発な活動を展開しており、昨年は他大学との交流も積極的に行いましたので、その様子を紹介します！

☆全国学生協働サミット

平成28年11月10日、全国の図書館関係者が一堂に会する「第18回図書館総合展」にて、全国学生協働サミットが行われ、約40大学と学生協働の今後について意見交換を行いました。いくつかテーマが設定され各大学から発表が行われましたが、予定していなかった大学からも飛び入りで発表が行われるなど、大変白熱した催しとなりました。

保健センター

**気をつけて
いますか、
熱中症予防**

熱中症は7月や8月だけでなく5月の急に気温が上がる日や残暑が厳しい9月以降もかかる恐れがあります。熱中症にかからないようにするためには、正しい知識と応急処置法を知っておくことが必要です。

熱中症予防

- ・ 温度に気をくばりましょう
- ・ 天気や気温を知る
- ・ 日陰を選んで歩く
- ・ 日傘や帽子の活用
- ・ エアコンや扇風機を上手に使う
- ・ 涼しい素材の服を着る
- ・ 木綿・麻などの自然素材や吸汗・速乾性に優れた素材を選ぶ
- ・ 飲料を持ち歩きましょう
- ・ こまめな水分補給
- ・ 喉が渇く前、暑い場所に行く前から水分補給
- ・ スポーツドリンクや塩分の含まれた飴などを携帯し水分と一緒に塩分補給
- ・ 休憩をとりましょう

▼ ポスター前で記念写真 (サミット)

▼ 交流の様子 (サミット)

▼ ポスター作成中 (サミット)

Library Mates 他大学との交流ますます活発です！

▲ グループワークの様子 (ワークショップ)

▲ 発表の様子 (ワークショップ)

▲ ポスター前で記念写真 (ワークショップ)

☆学生協働ワークショップ
東京2016
平成29年3月1日、立教大学において東京圏の14大学の協働についてワークショップがありました。

Library Mates は発表校として活動内容を発表し、他大学よりたくさんさんのコメントをいただいたのでその一部をご紹介します。

・ キャラクターがかわいいです！

・ 読み聞かせは東京家政大学ならではの活動ですね。そのほか、ポスターセッションやグループワークを行いました。この模様は、平成29年3月13日の毎日新聞ウェブニュースでも取り上げられました。

これから Library Mates を応援してね！

・ 涼しい場所で休息
・ ぐっすり眠れる環境づくり
・ 自分の体調を知ろう
・ 栄養をとりましょう
・ 朝食を抜かない

夏バテでも食材選びや調理方法を工夫して無理なく栄養補給

・ 夏風邪の時も要注意
熱中症の応急処置

● 涼しい場所へ避難
風通しのよい日陰やエアコンの効いている室内へ避難

● 服を脱がせてとにかく冷やす
水をかけ、うちわや扇風機などでおおぐことで体を冷やしたり水囊などで首すじ、脇の下、大腿の付け根、股関節に当てると効果的

● 水分・塩分補給
意識がないなど自力で水分の摂取ができない時は、緊急で医療機関に搬送することが最優先の対処方法

● なんとなく体調が悪い、普段と違うと感じた時は無理せず保健センターに相談してください。

中学校・高等学校

高校1年生にとって最初の学校行事である学習オリエンテーションが、4月19日から1泊2日の日程で行われました。この行事の目的は、同級生との親睦を図ること、そしてキャリア教育のアクティビティを通して、「将来自分が働くことの意味」と「仕事は社会にどのような価値をもたらしているのか」等を考えながら、自分の課題や目標を明らかにしていくことでした。

1部の内容は「事前学習」です。人材タイプの自己分析をした後、働く理由についてグループワークを行いました。2部は、社会人とのパネルディスカッションでした。

2日目は「発展学習」です。女性の「イマ」を知り、



幼稚園

入園当初、お母さんと離れて泣いたり、ドキドキと緊張したりしていた年少組(3歳)の子どもたち。園庭での楽しそうな遊びを眺めるうちに、いつの間にか涙が止まり、笑顔に変わっていく様子が見られました。園庭には子どもたちを思わず笑顔にしてしまう楽しい出会いがたくさんあるようです。

ある日のこと、草花で水を作って遊ぶ年中児の姿を見つけた年少児が傍らでじっとその様子をのぞいていました。すると、それに気づいた年中児が「ここに水を入れて、お花も入れるんだよ」と、優しく作り方を教えます。年少児は嬉々とした笑顔で、年少児も満足そうに水を注ぎました。



かせい 森のおうち

4月に0、1歳の新入園児12名を迎え、初めてお母さんと離れての生活が始まりました。0歳児クラスは様々な年齢の子どもたちがいます。子どもたちは「お腹が空いたよ」「抱っこして欲しいな」と気持ちを力強く全身で表現しています。保育者との関係が深まり、安心して甘える姿が見られます。また、周りの物に目を向けるゆとりも出てきました。出したり入れたりするおもちゃで遊んだり、好きなおもちゃに向かい前に進もうと一生懸命這ったりして遊びを楽しんでいます。



5月には親子交流会を行いました。狭山キャンパス内をお散歩です！

夏期休業中の貸出 (板橋図書館)

所属	貸出日	返却期限日
大学・短大	7/17(月)～9/4(月)	9/19(火)
大学院	7/17(月)～8/9(水)	

夏期休業中の貸出 (狭山図書館)

所属	貸出日	返却期限日
大学・短大	7/18(火)～8/28(月)	9/12(火)
大学院	7/18(火)～8/9(水)	

博物館

特別企画展のご案内

幕末の開国を経て、近代国家を目指した明治時代の日本。洋服や新素材・新技術の導入、社会制度や生活様式の変革によって、人々の服装は大きく変わります。本学の校祖渡邊辰五郎とその長男で二代目校長の渡邊滋は、まさにこの激動の時代を「裁縫」を武器に生き抜いたといえるでしょう。教育者として裁縫教育に尽力したのはもちろんのこと、まず自ら裁縫の技術に通じ、衣服への見識を深めていきました。

平成29年度 特別企画展 平成29年10月19日(木) → 11月24日(金)

辰五郎と滋の見た
明治の衣生活 **大転換**

観覧無料
場所 百周年記念館5階
休館日 日曜・祝日、10/30
(10/29は開館)

文官大礼服 明治後期

裁縫雛形
「改良服・改良袴」

ローブ・デコルテ
(辰五郎四女着用)

本展では、辰五郎と滋の視点を取り入れながら、明治という大転換期に、日本人が何を考え、どのように衣服を選び取っていたのかを探ります。

時間 9時30分～17時
※タイトル、休館日等は変更になる場合があります。

ニコ☆プチ ガールズコレクション 2017(プチ☆コレ7)への参加

後援会の学生自立支援基金を頂き、4月30日(日)、ビッグサイトTFTホールで開催されたニコ☆プチガールズコレクション2017(プチ☆コレ7)のファッションショーと展示ブースに参加しました。

ニコ☆プチとは(株)新潮社刊の小学生向けのファッション雑誌で、本雑誌が主催するニコ☆プチガールズコレクションは2011年から開催されている小学生のファッションショーです。生活科学研究所を窓口として参加について企画しました。当日は子ども821名、大人2,217名合計3,038名の参加者でした。

参加した学生の感想

▼ファッションショー・女子小学生向けの衣装のデザインは、学生から41点の応募がありWeb投票で12点が出されました。モデルの方もWeb上での投票でした。春休み期間中に衣装

参加のイベントであるため「去年と同じように...」ができません。アイデアを出し合い、作業を進めるのに苦戦しましたが、ブースが完成していくのを実感できやうりがありました。協力をお願いした沢山の方に感謝しプチ☆コレ7に参加して学んだことや、作業の中で実際に身についた技術などをこれからの学生生活に活かしていきたいと思えます。

(2年 丸山千陽)

本学が大学では唯一「プチ☆コレ7」への参加であり、すべて初めてのことでしたが、学生にはとても良い経験になったと確信しています。6月22日発売の雑誌「ニコ☆プチ」にはプチ☆コレ7の特集として編集担当の学生が作成したページが掲載されました。

学生支援センター所長森田幸雄

ニコ☆コレ7

平成29年度新入生成績優秀者奨学金採用者授与式

4月26日新入生成績優秀者20名に対し、奨学金授与式が各キャンパスで行われました。

家政・人文学部、短大は板橋キャンパスにて理事長・学長の挨拶の後、学長より一人ひとりに決定通知が手渡されました。その後、学科長・科長・クラス担任も交え懇談会が開かれました。

看護学部は同日狭山キャンパスにて、学部長より決定通知が手渡されました。



狭山キャンパス



板橋キャンパス

平成29年春の叙勲

4月29日平成29年春の叙勲で、永年の教育・研究功績により、平成18年3月31日付で定年退職された秋山堯名誉教授が瑞宝中綬章



5月16日お祝いの会
前列中央左：秋山堯名誉教授
前列中央右：川瀬八洲夫名誉教授

を、平成19年3月31日付で定年退職された川瀬八洲夫名誉教授が瑞宝中綬章を、村野志朗かせい森の放課後等デイサービスつくし施設長が瑞宝双光章を受賞されました。



ファッションショー 展示ブース

参加のイベントであるため「去年と同じように...」ができません。アイデアを出し合い、作業を進めるのに苦戦しましたが、ブースが完成していくのを実感できやうりがありました。協力をお願いした沢山の方に感謝しプチ☆コレ7に参加して学んだことや、作業の中で実際に身についた技術などをこれからの学生生活に活かしていきたいと思えます。

(2年 丸山千陽)

学生・生徒・教職員を合わせ 約8千人が通学・通勤しています。一人ひとりのマナー改善について、ご理解・ご協力をお願いします。

1. 横に広がらず右側通行を心掛ける。
2. 大声で話さない。住民の方に迷惑です。
3. 踏切の遮断機が下がり始めたら、踏切を横断しない。
4. 横断歩道の信号無視はしない。
5. 歩きながら、携帯電話、スマートフォンの操作をしない。
6. 歩きながら飲食をしない。
7. ゴミのポイ捨てはしない。
8. 自転車を使用する際は、道路交通法を守り、安全走行を心掛ける。



ライブペインティングに興味津々!
(造形表現学科)

上級生が持参したノートを食べい入るのようにつめ、授業について質問をする新人



前列中央左 寺田和幸名誉教授
前列中央右 安達順子名誉教授

5月16日、6月1日に本学にてお祝いの会が開かれました。

第1回新入生歓迎交流会の開催

5月18日「第1回新入生歓迎交流会」が板橋キャンパス16号館にて開催されました。これは上級生と下級生の交流の機会として上級生が企画したもので、「家政大を、自分たちの学生生活をより良くするために何ができるか」を自ら考え立案しました。当日の司会をはじめ、資料の作成、進行全てを学生が行いました。



上級生のノートを真剣に見つめる新入生(栄養学科)

6月1日お祝いの会

左：菅谷定彦理事
右：村野志朗かせい森の放課後等デイサービスつくし施設長

名譽教授の称号授与

平成29年3月に退職された正木義晴教授、市丸雄平教授、寺田和幸教授、安達順子教授、伊藤節教授に「東京家政大学名誉教授」の称号が授与されました。先生方は学園に就任されて以来、学内外で活躍、教育上の多大な功績を残された他、永年にわたり学園の教育・研究の発展にご尽力ご貢献いただきました。授与式は6月13日百周年記念館3階第3会議室にて行われました。

施設改修等工事 及び夏季の節電・省エネルギーについてお願い

狭山校舎ではこの3月より来年度開設予定の新学科及び既存学科の利用を目的に新棟建設が始まっています。また、板橋校舎ではこの5月より建築後20年を経過した小講堂・大学8号館の外壁改修、空調設備更新、照明のLED化等や小講堂の天井耐震化を実施しています。この他、大学9号館の空調設備更新工事を予定しています。これらの工

長南町「井メニエー」プロジェクト

平成28年10月24日(月)、本学の校祖である渡邊辰五郎先生の生誕地千葉県長南町との包括協定締結記念事業として、長南町の特産品を用いた「井メニエー」プロジェクトを実施しました。

長南町には豊かな自然と伝統ある郷土、そして生産者の技術によって育まれた特産品が数多く存在します。その中でも、長南町が房総最大の生産地であるレンコン、現在では珍しい原

東京都市圏との連携事業 「トッパアスリートのまち・北区」

学生による広告塔デザインが完成!

十条駅前前の広告塔デザインを造形表現学科の学生が制作しました。ぜひご覧ください。

また、デザインを制作した学生は、完成を記念して北区长より表彰を受けました。

長南町「井メニエー」プロジェクト

木栽培によって育てられた香り高い椎茸の他自然薯、古代米、コシヒカリの5つの特産品を使用し、長南町の新たな「ふるさと産品」の開発も目的の一つとして掲げ、今回の事業が実施されました。

コンテスト当日の審査には長南町平野貞夫町長を審査員長として迎え、本学教職員も多数参加しました。厳正な審査の結果6名のレシビが入賞しました。入賞



花川與惣太北区长より表彰を受けました



赤羽駅西口



十条駅北口

事に伴い施設の利用制限や振動、騒音などが発生し、ご不便をおかけする場合がありますが、安全へ充分配慮し工事を実施いたしますのでご理解、ご協力をお願いいたします。

学園は、東日本大震災直後の法律による節電の終了後も、継続して節電に取り組んでおり、法律及び都条例により省エネ推進が義務付けられた事業所に指定されています。また、文部科学省より、今夏も一層の省エネ対策に取り組むよう要請がありました。

さらに地球温暖化防止を踏まえ、環境省地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」(賢い選択)に本学園は賛同し登録しています。主に、適切な室温設定、夏期は上着及びネクタイを着用しないクールビズ、夜間のライトダウン運動を実践していきます。

今夏も健康に留意し、極力、教育・研究活動等への影響を回避した節電・省エネに皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。(問合先：財務部管財課)

長南町「井メニエー」プロジェクト

コンテスト当日の審査には長南町平野貞夫町長を審査員長として迎え、本学教職員も多数参加しました。厳正な審査の結果6名のレシビが入賞しました。入賞



コンテスト入賞学生6名と審査員団



長南フェスティバルでの表彰の様子